

芸術「美術Ⅰ」	単位数	2単位
	学科・学年	工業科・第1学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	美術の幅広い創造活動を通して美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。
使用教科書・副教材等	美術1（光村図書）

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

学期	学習内容	月	学習のねらい	考查範囲
1 学期	1 美術Ⅰの学習について	4	・学習の意義や年間の予定、評価方法について理解する。	
	2 デザイン 「グラデーション」	5	・素材や材料・用具の特性を生かした表現方法を体験し、表現の幅を広げる。	
	3 絵画 「自画像」		・自画像の表現活動により、自己を深く見つめる。 ・色彩感覚や陰影の表現力を高める。	
	4 絵画 「人権絵手紙」	6	・墨汁による表現技法と効果についての理解を深める。 ・人権を大切にすることを高める。	
	5 デザイン 「人権ポスター」	7	・デザインの視覚的な伝達効果について理解し、それらを効果的に生かし美しく構成する能力を高める。	
2 学期	6 デザイン 「ペーパークラフト(蛇腹折)」	8	・立体造形の表現技能を高める。 ・素材の持つ機能、美しさなどを考えて構想を練り、計画力や作図の能力を高める。	
	7 デザイン 「パロディ画」	10	・イラストについての理解を深める。	
		11	・自由な発想により、新しい価値観を理解し、作品の完成度を高める。	
	8 絵画 「点描画」	12	・トーンセパレーションの技法を習得し、モノトーンでのリアルな表現力を高める。	
3 学期	9 デザイン 「積木パズルパッケージ」	1	・手作りの立体パズルの良さを感じ、創造の喜びを味わう。 ・切り絵の技法を習得し、豊に表現する力を高める。	
	10 鑑賞 「トリックアート」	2	・多くの美術作品に触れ、主体的に鑑賞する力を伸ばす。	
	11 学習のまとめ	3	・1年間の学習を反省し、学習成果の確認と自己評価を行う。	

(2) 評価の観点及び内容

美術への関心・意欲・態度	・美術を愛好し表現の主題や形式などに幅広く関心をもち、意欲的、主体的に表現や鑑賞の活動を行い、その喜びを味わおうとしたか。
発想や構想の能力	・感性を働かせて美術のよさや美しさを感じ取り、豊かに発想し創造的表現を工夫できたか。
創造的な技能	・材料や用具を生かして創造的な表現をするための技能を身につけることができたか。
鑑賞の能力	・作者の心情や意図と表現の工夫、自然と美術とのかかわり、生活や社会を豊かにする美術の働き、日本の美術の歴史などを理解し、そのよさや美しさを感じることができたか。
・評価は、学習状況(制作への取組の姿や態度、発言、準備や後片付け、提出状況)・制作過程(アイデアスケッチや制作中の工夫)・学習記録(ワークシート、自己評価)・完成作品などにより総合的に行います。	

3 確かな学力を身に付けるためのアドバイス

美術を楽しむ気持ちで意欲的に取り組みましょう。上手などといった技術面よりも作品に対してどれだけ努力したかが大切です。気持ちを込めて丁寧に制作することを心掛けて下さい。
